

# いっしょにあゆもう



岐阜聖徳学園大学附属小学校は岐阜県内で唯一の私立小学校です。  
38年の歴史と、大学教育学部との連携を活かして  
子どもたち一人ひとりが将来に向かって大きく羽ばたけるよう  
より良い教育を展開していきます。



## 私立・大学附属校としての特色

### 大学附属校として

大学施設を利用した学習をはじめ、大学教員の授業を直接受けることのできる機会もあります。

6、7月には、教員をめざす学生の「学校ふれあい体験」、9月には教育実習(教育学部)の学生を受け入れています。時には、学生たちのサポートによるマンツーマン指導も行っています。また、大学の教員や学生によるカリキュラム開発や、授業など、大学附属校としてのメリットを最大限に生かした教育実践を展開しています。



### 充実の設備

平成19年に新築した校舎は、広くて明るく開放感に溢れています。7台の防犯カメラと警備員により、学校周辺の安全を監視しています。

### 興味・探究心を引き出す施設

#### 【図書館】

明るく落ち着いた空間での読書や、コンピュータを活用した調べ学習などに利用します。メディアセンターとしての図書館は約1万冊の蔵書があります。



#### 【コンピュータ室】

最新のコンピュータを備えたメディアラボと、テレビ会議で世界とつながるコミュニケーションラボ。これからの情報社会・国際社会で生きる子どもたちに、確かな力を育てます。



### 建学の精神

本学では、仏教精神を建学の精神とし、浄土真宗の宗祖親鸞聖人が、和国の教主と敬慕された聖徳太子の「以和為貴」(和を以て貴しと為す)の聖句をその具体化として象徴的に掲げ、「平等」「寛容」「利他」の大乗仏教の精神を体する人格の形成を目指しています。

これらは、自己中心的で頑なな心を離れた「やわらかなこころ」(以和為貴)で、あらゆるいのちには、個々に性質の差のあることを認めつつ(寛容)、みなかけがえのない尊いいのちをもつこと(平等)に気づいて、他者のための行い(利他)に励むことこそ、人間として目指すべき理想であるといった精神なのです。

### 学校の教育目標

本校では、建学の精神を基調にすると共に、宗門関係学校・大学教育学部附属校・私立小学校としての3つの使命を具現化していくことをねらい、学校の教育目標を次のように掲げています。

### 優しくて強く賢さのふくらむみ仏の子

やさしい子  
自分を見つめ、  
仲間に優しくする

つよい子  
できるまで、  
あきらめない

かしこい子  
自分で感じ、考え、  
見つけていく

